

虐待・権利侵害の根絶に向けた行動宣言

私たち社会福祉法人黒松内つくし園は、すべての人の自由と尊厳を守り、施設利用者が主体的に自立した生活を営めるよう支援するため、法人として「虐待・権利侵害ゼロ」を、役職員はあらゆる努力を惜しまず、向上心をもって取り組みを実行していきます。

今こそ、「虐待・権利侵害ゼロ」をここに全力で取り組むことを宣言します。

◎私たちは、次の虐待について、いかなる理由があろうともこれを容認することなく、根絶します。

- (1)身体的虐待(暴行)
- (2)養護を著しく怠ること(ネグレクト)
- (3)心理的虐待(心理的外傷をあたえるような言動)
- (4)性的虐待
- (5)経済的虐待(高齢者・障がい者から不当な経済上の利益を得ること)

◎役員・管理者は、虐待・権利侵害の根絶に率先して取り組み、その姿勢を職員に示します。

◎役員・管理者は、施設内の小さな変化などを察知すべく現場に足を運び牽制体制を図ります。

◎役職員は、互いに不適切なサービスが起こらないように確認し合い、より質の高い福祉サービスを提供する職場風土を築きます。

◎福祉従事者の倫理観・専門性のさらなる向上に取り組むとともに、役職員が責任と誇りをもって働くことができる職場づくりを進めます。

◎第三者評価の受審や苦情解決・第三者委員などの外部の人々が介入する仕組みをこれまで以上に取り入れ、ボランティアの参画など地域に開かれた施設・事業所運営を推進します。

◎不適切なサービス等が発生した際に、迅速な行政への報告や利用者・家族への対応、改善・是正に向けた取り組みなど、迅速かつ適切に対応するための体制の構築を強化します。

2024年8月1日

社会福祉法人 黒松内つくし園
理事長 大代 貴輝